

CREW WATCH

CAUTION
HIGH TRAILER

2021年9月号

ポートステートコントロールに備える
船員支援慈善団体への寄付
CHIRPインシデント報告制度による安全向上
釣った魚には要注意！



BRITANNIA P&I
TRUSTED SINCE 1855

CXDU 214158 6
4561

MAX. GROSS 32,500 KGS.
71,450 LBS.
TARE 3,700 KGS.
8,330 LBS.
NET 28,720 KGS.
63,320 LBS.
CUB. CAP. 76.4 CU.M.
2,700 CU.FT.

MAX. GROSS 32,500 KGS.
71,450 LBS.
TARE 3,700 KGS.
8,330 LBS.
NET 28,720 KGS.
63,320 LBS.
CUB. CAP. 76.4 CU.M.
2,700 CU.FT.

30
67
3
8
26
58
7
27

CAUTION
HIGH
CONTENTS



船員の安全とウェルビーイングの確保は普段から重要な課題ではありますが、昨今の厳しい状況下では、これがかつてないほど重要になっています。ブリタニヤは船員の皆さまの安全向上に引き続き取り組んでおり、今回のCrew Watchでは高所作業中の危険について、船内掲示用のポスターと併せてご紹介します。また、世界中で船員支援活動を精力的に行う慈善団体への寄付についてもご紹介します。

CLAIRE MYATT
編集者



本号の「Crew Watch」をどうぞお楽しみください。有意義で、広く関心をお持ちいただける記事を掲載し、さらに充実させるべく努めてまいります。皆さまのご意見を britanniacommunications@tindallriley.com までぜひお寄せください。

(翻訳)ブリタニヤP&Iクラブ日本支店
こちらは英語版の日本語訳です。日本語訳と英語版の間に齟齬がある場合は英語版の内容を優先くださるようお願い申し上げます。



Jacob Damgaard
Associate Director,
Loss Prevention
TR(B) Singapore
jdamgaard@tindallriley.com

検査への準備は 万全ですか？

ポートステートコントロールへの 備えと対応方法



ポートステートコントロール(PSC)に関する覚書が1982年に初めて採択されて以来、PSCはサブスタンダード船に対処するための重要な手段となってきました。この制度によって、地元当局は、管轄内の港に到着した外国船に対して安全基準や堪航性が確保されているかを検査・確認することができます。

PSC当局に拘束されれば、多大な費用が発生するほか、遅延や傭船料の損失にもつながりかねません。そのため、こうした検査に常日頃から備えておくことが重要で、船員一人一人の役割が極めて重要になってきます。

報告 不備・欠陥を隠そうとしてはいけません。SOLAS条約では、不備・欠陥があった場合は地元PSC当局と旗国に報告しなければならないと定めています。装置の部品に欠陥が見つかった場合でも、それが是正されるまでそのまま運航できるよう必要な承認を得るには、報告することが重要です。

整理整頓 第一印象は大切です。PSC検査官(PSCO)がギャングウェイを登ってきたときに、その船舶の第一印象は決まります。そのため、有能な船員がきちんと手入れと管理を行っている船舶だと思われるようにしましょう。

丁寧な対応 ギャングウェイの当直員は、PSCOが乗船してきたら挨拶をし、速やかに乗船手続きを済ませて船長のところに案内しましょう。検査中は丁寧に應對し、決して逆らってはいけません。

書類 検査中にすぐに取り出して確認できるよう、証書や記録類はすべてきちんと保管しておくようにしましょう。

付き添い 検査中はPSCOが1人になることのないようにし、質問をされた場合にすぐに答えられるよう、必ず上級船員が1人付き添ってください。

検査が終わると、PSCOから検査結果が船長に渡されます。船長は、指摘された不備・欠陥が不当だと判断した場合は、PSCOにすぐにその旨を伝え、また、必要であれば船主に連絡をしてサポートを求めてください。

PSCOが下船したら、**検査報告書を船内のファイルに保存し、コピーを船主の事務所に提出してください。**見つかった不備・欠陥については、根本原因と再発防止のための対策を是正措置報告書に記載してください。



船員への 支援活動



コロナ禍において、船員の皆さまにのし掛かる要求やプレッシャーが高まっていること、また、船員の福祉支援に携わる慈善団体が果たす役割の重要さに鑑みて、この度ブリタニヤは4つの団体に寄付を行いました。

- INTERNATIONAL SEAFARERS' WELFARE AND ASSISTANCE NETWORK (ISWAN)
- SAILORS' SOCIETY
- STELLA MARIS
- THE MISSION TO SEAFARERS

船員の健康とウェルビーイングは、ブリタニヤがオンラインで展開している安全キャンペーン「BSafe」の重要な柱の1つです。BSafeでは船員支援を目的に、船内の安全や船員のウェルビーイングに関するベストプラクティスや最新の考え方を専用のウェブサイトから発信しています。

ブリタニヤはこのキャンペーンを通じて、船員支援慈善団体が実施しているそれぞれの取り組みも支援しています。SAILORS' SOCIETY CEOのSara Baade氏は次のように話しています。

「船員業は世界の中でも特に厳しい仕事に数えられますが、パンデミックとそれに伴う船員交代危機によって彼らが受けるストレスや精神的なプレッシャーはますます強くなっており、私たちのところに掛かってくる電話も増えています。ですから、この度ブリタニヤP&Iが、私たちの『船員福祉啓発キャンペーン』にご参加くださったほか、『船員福祉プログラム』の拡大に向けて多額の寄付をしてくださるという形でメンタルヘルスケア活動に投資してくださったことに、改めて感謝申し上げます。」

THE MISSION TO SEAFARERS事務局長、Andrew Wright氏のコメント:

「長きにわたってご支援いただいているブリタニヤP&Iからこのような寄付をいただき、非常にありがたく思っております。船員は大きな試練に直面しながら世界のサプライチェーンの維持にも努めるという状況が続いており、今回の寄付はそうした船員のメンタルヘルスケアに多大なる効果をもたらしてくれるでしょう。」

STELLA MARIS CEO、Martin Foley氏のコメント:

「STELLA MARISでは、世界各国で1,000名の訪船ボランティアとチャプレン（聖職者）を擁した船員支援ネットワークを築いており、ブリタニヤメンバーの船舶にも毎年数多く訪船し、船員支援を行っています。船員に対する要求やプレッシャーの高まりに合わせて私たちの支援強化も必要となっていますが、ブリタニヤからの長年にわたる変わらぬご支援のおかげで、それが可能となっています。」

ISWAN CEO、Simon Grainge氏のコメント:

「船員にとって厳しい今の時期にブリタニヤからご支援をいただき、とても感謝しております。今回寄付をいただいたおかげで、世界中で求められている船員やその家族への支援を強化できます。」

WELLNESS AT SEA

Sailors' Societyは船員の研修・支援プログラムを提供する草分け的存在です。このプログラムは海運業界の中でも最も包括的で長期にわたって続いているもので、200年に及ぶ船員福祉支援の経験と心理学のノウハウを組み合わせ、階級を問わずすべての船員が自分自身や他者のウェルビーイングをうまく確保できるようになっています。

初期のプログラムが2015年から実施されており、要望に応じて常に内容が変更されています。また、船員やその家族、陸上スタッフのウェルビーイング支援強化を希望する個人や組織向けに、さまざまな形式で利用できるようになっています。

さらに、Wellness at Sea Awarenessキャンペーンとして、船会社の船員向けにウェルビーイングの重要性を無料で紹介する活動も行われています。このキャンペーンは27週にわたって実施されます。先日、キャンペーンの対象者が船員の家族と陸上スタッフにも拡大され、支援の手を広げ、対象者同士が理解を深められるようになっています。

ブリタニヤは長年にわたってSailors' Societyの活動を支援してきたほか、BSafeキャンペーンの一環としてWellness at Sea Awarenessキャンペーンをメンバーの皆さまにお勧めすることで、このキャンペーンを支援してきました。詳しくはSailors' Societyのウェブサイトをご覧ください。

www.sailors-society.org/wellness-at-sea-home





インシデントの報告で 安全性を向上 CHIRPを活用した 安全問題啓発の仕組み

危険インシデント秘密報告制度(CHIRP)とは、秘匿性の高い独立した報告制度を設けることで、危険インシデントやヒヤリハットの報告を検証・調査するものです。船員から直接報告を受け、しかもその情報が完全に秘匿化されるというのは、他の制度には見られない特徴です。

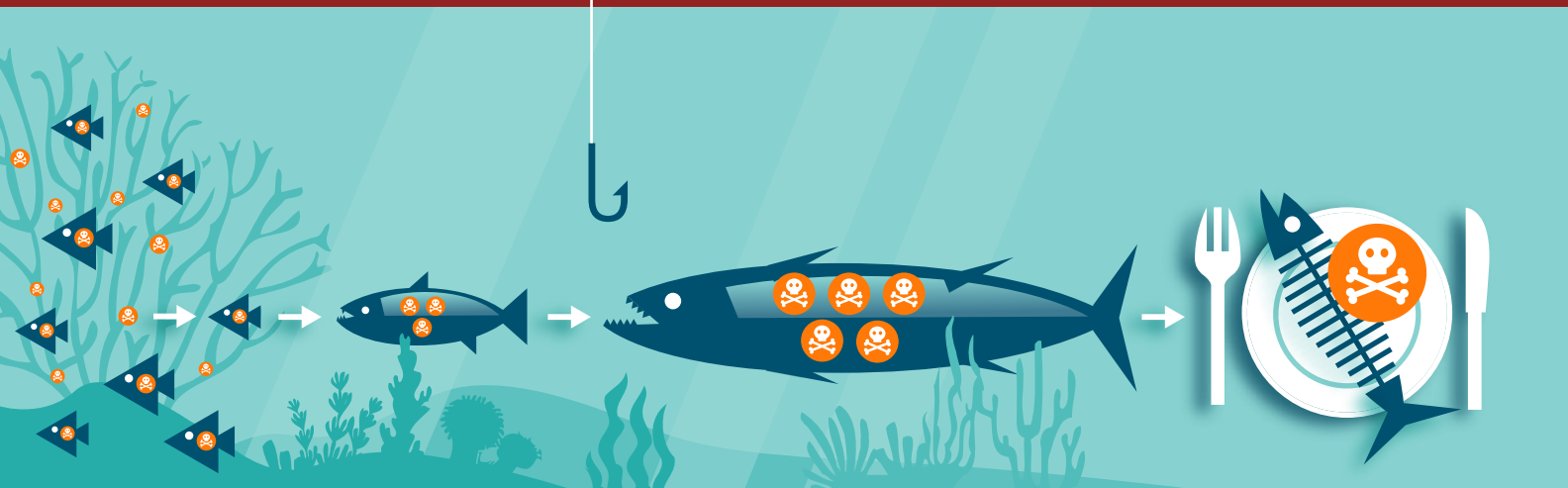
送られてきた報告については、内容が正しいか、悪意のあるものでないかの確認が直ちに行われます。その後、関係者を交えてインシデントの根本原因を特定し、CHIRPとしての結論が刊行物の形で発表されます。ブリタニヤはスポンサーとして、CHIRPが発行する雑誌『MARITIME FEEDBACK』をタガログ語に翻訳し、フィリピン人船員に配布する活動を行っています。



安全違反や環境汚染に関する問題、セクハラ、いじめ、健康に被害を及ぼしかねない問題などに気付いた場合は、CHIRPに連絡してください。

報告者の名前は一切出ない形で扱われます。

船側で釣った魚を食べると 食中毒になることも



船側で釣った魚を食べると非常に深刻な健康被害を受ける可能性があります。さらに、遅延を引き起こして船主に高額クレームが発生するおそれもあります。

先日、船長を含む船員16名が、船側で釣ったオニカマスを食べて病気になるという事態が発生しました。彼らが獲ったのは、オニカマスなどサンゴ礁域に生息する大型魚を食べることで発生することの多いシガテラという中毒の一種で、魚の餌となるプランクトンに含まれる毒素を原因とするものです。

この毒素は無味無臭で、調理をしても消えません。

過去には、この食中毒に罹った船員が重症になり、集中治療を受けたケースもありました。

ow.ly/PoK030rRn2F

幸い、今回、病院での処置は必要となったものの症状はそこまで深刻ではありませんでした。ちょうど港にいて、地元の病院の緊急治療室に速やかに搬送されたことが功を奏したのです。その後、地元当局が乗船し、調査が徹底的に行われました。



船側で釣った魚は無害のように思えるかもしれませんが、このような事件を聞くと、こうした魚を口にするのは非常に危険であることを思い知らされます。

釣った魚の種類が分かっていると思っていても、場所によっては生態系に独特の問題があり、魚が毒性を帯びている可能性があります。

毎回BSAFEポスターをシリーズでお届けしています。今回は適切な個人防護具を着用せずに高所作業を行った場合の危険を喚起するポスターをご紹介します。

作業中の安全確保

作業に適した命綱の着用を
忘れずに。あなたの命を守って
くれます。



BSAFE

高所作業ガイド
britanniapandi.com/topic/heights

BRITANNIA P&I

先日発表した2件のBSAFE事例では、いずれも船員が重傷を負い、そのうちの1件では死亡という悲劇的な結果になりました。

1件目は、ABが救命艇の修理を行おうとしたケースです。移動式のはしごを使ってデッキから4.8メートルの高さまで登った際に発生しました。はしごはボースンが支えていましたが、それが滑った際に支えきれず、上にいたABがデッキに転落してしまいました。このABはハーネスやヘルメットを着けておらず、残念ながら亡くなってしまいました。

ow.ly/YFr830rRn2Q

2件目は、2人の船員が仮設やぐらの上でホルドのメンテナンス作業を行っている最中に発生したケースです。2人が乗った状態でやぐらが動いてしまったことが原因です。いずれも安全ハーネスや命綱は着けていませんでした。やぐらが崩れ、デッキに転落した2人は重傷を負い、数週間の入院を余儀なくされました。

ow.ly/fk5z30rRn3f

TR(E)

MANAGERS:
TINDALL RILEY EUROPE SÀRL

Registered Office:
42 - 44 avenue de la Gare, L-1610 Luxembourg.

AGENTS FOR THE MANAGERS:
TINDALL RILEY (BRITANNIA) LIMITED

Regis House, 45 King William Street, London EC4R 9AN.
T: +44 (0) 20 7407 3588 | F: +44 (0) 20 7403 3942

THE BRITANNIA STEAM SHIP INSURANCE ASSOCIATION EUROPE UK BRANCH

健全性監督機構の認可を受けたものとみなされ、金融行為規制機構の規制および健全性監督機構の限定規制下にあります。

Britannia Steam Ship Insurance Association Europeはルクセンブルク法人で、相互組合(No.B230379)として登録されています。ルクセンブルク財務大臣の認可を受けており、同国保険監督委員会の規制下にあります。

britanniapandi.com